

将来計画委員会企画

「レジデント・アワード・セッション／Resident Award Session」のご案内

将来計画委員会

委員長 多久嶋亮彦（杏林大学形成外科）

2023年7月13日、14日に東京日本橋で開催されます、第15回創傷外科学会総会・学術集会では、昨年同様に「レジデント・アワード・セッション／Resident Award Session」を開催致します。本セッションでは、若手医師より応募頂いた演題の中からいくつかの優秀演題を選考し、発表を行っていただきます。そして、発表内容だけでなく、プレゼンの優劣も含めて選考を行い、最優秀発表者を表彰します。最優秀発表者には、副賞として賞金が授けられることになっています。皆さんからの多数の応募をお待ちしております。

【応募資格】 2023年（令和5年）3月1日現在で、形成外科研修プログラムをはじめとした基本領域研修プログラムを修了していない日本創傷外科学会会員。（2023年（令和5年）3月31日に基本領域研修プログラムを修了予定の会員も応募可能です。また、日本創傷外科学会会員であれば、初期研修医も応募可能です。

2019年（平成31年）4月1日より前に後期研修を開始した会員は対象外となります。

【募集要項】 創傷に関連する発表であり、かつ1例の症例報告に限る

【副賞】 最優秀演題 10万円 優秀演題 5万円

【抄録作成】 HP記載の「抄録作成要領」に準じて作成してください

【注意事項】 本セッションでは応募者多数などの理由で不採用となる場合があります。不採用時に一般演題やポスターでの発表を希望される場合は、演題登録システムで「発表形式」「カテゴリー」等を選択してください。